



令和6年5月31日(金)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: [www.kita9.ed.jp/nakashima-e/](http://www.kita9.ed.jp/nakashima-e/)

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

## 避難訓練① 火災の避難訓練を実施しました!

5月13日(月)の2校時、火災による避難訓練を行いました。中島小学校は、令和2・3年度の2年間、防災・減災教育推進モデル校として様々な取組を行ってきました。令和4年度は6年生(現中学2年生)が、防災・減災新聞を作成して地域に配布したり、学習発表会で避難の仕方などを発表したりするなどして、取組を継続してきました。また、火災による避難訓練では、令和4年度より消防署の方々に講師として来ていただき、避難訓練の講評と消火器体験訓練を行っていただいています。

避難開始の放送から3分20秒後に避難完了。児童の訓練時の態度については、速やかに避難することができ、訓練がよくできているとお褒めの言葉をいただきました。火災の拡大を防ぐために重要なのが『初期消火』です。そのため、消火器体験

訓練を毎年行っています。今年も3~6年生が3名ずつ挑戦しました。大切な命を守るために、今後も様々な場面での避難を想定し、訓練を行いたいと思います。

### 消火器の使い方

- ㊦ ピンを抜く
- ㊧ ノズルを持つ
- ㊨ 距離をとる
- ㊩ 押す

### 避難時の注意事項

- ① 放送で出火場所を確認して行動する。
- ② 2次災害防止のため、使用中の電気・ガスを消し、窓を閉める。
- ③ 防災対策(ハンカチ・タオルで口を押える)をし、頭を低くして避難する。
- ④ 上履きのまま、所持品は持たずに速やかに行動する。
- ⑤ 校舎内は速やかに移動、校舎外は走って移動。
- ⑥ 押さない。走らない。しゃべらない。戻らない。近寄らない。
- ⑦ 集合場所に着いたら、2列で整列。人員点呼する。

## 走り方教室を開催しました!(5・6年生)

5月14日(火)、5・6年生を対象に走り方教室が行われました。5年生は1校時に、6年生は2校時に実施しました。学校応援団の3人の方を講師に迎え、手の使い方、足の使い方、フォームなどを学びました。講師の中には、長距離の選手だった方や、走り幅跳び日本一だった方もいらっしゃって、とても分かりやすく丁寧にご指導していただきました。

速く走るには3つのコツがあることを教えていただき、5年生も6年生もわずか45分の間に見る見る上手になっていきました。速く走るためにはフォームが大切であることが、とてもよく分かりました。全員一生懸命に取り組むことができ、よい経験となりました。

### <ポイント1:正しい姿勢で!>

走るときのポイントは、「足から頭までが一直線になること」が大切です。腰が曲がっている・背中が曲がっているようでは、地面に力がしっかりと伝わりません。腰や背中を曲げず、姿勢を一直線に保った正しい姿勢で走りましょう。

### <ポイント2:正しい腕振り!>

ひじを90度に曲げ、腕を大きく振ります。ひじを伸ばしたまま振ったり、腕を斜めに振ったりしては、速く振ることができません!ひじをしっかり曲げて、1・2、1・2、1・2、1・2・・・大きく腕を振りましょう。

### <ポイント3:正しいもも上げ!>

走るときは、だいたいおヘソの辺りまでひざをあげましょう。ひざは90度に曲げます。そのときに注意しなければならないのが、姿勢です。ひざを意識しすぎて、背中が曲がってはいけません。一直線をイメージしたまま、ひざを上げます。そして、もうひとつのポイント。歩幅は広めにとりましょう。(ボルトは、100mを約40歩、つまり1歩約2m50cmで走るそうです。)

今年度の走り方教室は、ちょうどスポーツテストの直前に行われました。50m走では、「正しい姿勢」「腕振り」「もも上げ」を意識して走ることができたでしょうか。これからの体育の時間にもぜひ生かしてほしいと思います。

明日から6月。熱中症が心配な季節がやってきました。5月29日(水)午前、神奈川県の小学校では、運動場で行われていた運動会の練習後、多数の児童が熱中症の疑いで病院に搬送されました。暑くなり始めるこの時期は、体が暑さに慣れていないため、体調を崩しがちです。帽子をかぶる、水分を補給するなど、中島小学校でも熱中症予防を徹底していきます。